



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 株式会社 不二家
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	51,010	5.0	205	△90.5	606	△78.2	120	△92.1
2022年12月期第2四半期	48,599	—	2,160	33.3	2,779	28.9	1,514	74.8

(注)包括利益 2023年12月期第2四半期 1,003百万円 (△63.7%) 2022年12月期第2四半期 2,761百万円 (74.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	4.67	—
2022年12月期第2四半期	58.76	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
 このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第2四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 なお、当該会計基準等を除外した実質の増減率は13.7%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	78,136	59,170	70.0
2022年12月期	83,712	59,165	65.6

(参考)自己資本 2023年12月期第2四半期 54,715百万円 2022年12月期 54,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	5.4	3,100	△28.5	3,900	△29.7	2,400	△28.9	93.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	25,784,659 株	2022年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	8,708 株	2022年12月期	8,602 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	25,776,013 株	2022年12月期2Q	25,776,129 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～6月30日）におけるわが国の経済は、ウィズコロナのもと、各種政策による景気の回復が期待される中、原材料やエネルギー価格の高騰等の影響もあり厳しい状況となりました。

このような状況下において当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスを提供できるよう、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、510億10百万円（対前年同期比105.0%）と、前年同期の実績を上回ることができました。

利益面では、製品価格の見直しや省人化など生産性向上をはかってまいりましたが、洋菓子事業における想定を上回る原材料価格の高騰、フランチャイズ店舗の苦戦、在庫調整による生産高の減少、不良在庫の処分及び製菓事業における製品価格の見直しによる販売数量減少の影響が大きく、コスト上昇分を吸収するまでには至らず、営業利益は2億5百万円（対前年同期比9.5%）、経常利益は6億6百万円（対前年同期比21.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億20百万円（対前年同期比7.9%）と、前年同期の実績を下回りました。

なお、現在、主力ブランド製品の拡販をはかり、売上向上を目指すとともに、利益の回復に向け、工場の稼働を促進させてさらなる生産性向上とコスト改善に取り組んでおります。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2023年1月1日から 2023年6月30日まで		2022年1月1日から 2022年6月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	百万円 12,098	% 23.7	百万円 12,233	% 25.2	% 98.9	百万円 △134
	レストラン	2,685	5.3	2,199	4.5	122.1	486
	計	14,783	29.0	14,432	29.7	102.4	351
製菓事業	菓子	32,362	63.4	30,095	61.9	107.5	2,267
	飲料	2,246	4.4	2,527	5.2	88.9	△281
	計	34,609	67.8	32,623	67.1	106.1	1,985
その他		1,617	3.2	1,543	3.2	104.8	73
合計		51,010	100.0	48,599	100.0	105.0	2,410

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店にて産地・品種にこだわった原料を使用した『厳選素材製品』や「プレミアムショートケーキ（国産苺）」などの『高付加価値製品』、さらに6月は山形県産さくらんぼ佐藤錦を使用するなど月ごとに旬のフルーツを使用した期間限定のケーキ『宝石箱シリーズ』を展開し、常に変化のある品揃えによりお客様に選ぶ楽しさを提供してまいりました。同時に、幅広い年齢層に向けた販売促進活動を行い、拡販につとめました。当第2四半期連結会計期間末の不二家洋菓子店の営業店舗数は、949店と前年同期に比べ7店減少となり、洋菓子店の売上は前年を下回りました。

広域流通企業との取り組みについては、パフケーキ「ペコパフ静岡県産クラウンメロン」など厳選素材を使用し、且つ生産性の高いラインで製造できる製品やマカロンなど当社の技術力を活かした製品の提案を積極的に行いました。

レストラン事業では、メニュー及び価格の一部見直しによる客単価アップ、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた客足の回復にこれまで取り組んできた美化改装の効果も加わり、売上高は26億85百万円（対前年同期比122.1%）と前年同期の実績を上回ることができました。

㈱ダロワイヨジャパンでは、百貨店や駅ビルに出店している店舗の販売が好調に推移しており、前年同期を上回

る売上とすることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は147億83百万円（対前年同期比102.4%）となりましたが、利益面では、卵、油脂など原材料価格の急騰や不良在庫の処分等により、厳しい結果となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子においては、「カントリーマアム チョコマみれ」や「ホームパイ チョコだらけ」を主軸として、前期に生産能力を増強した製品の拡販に取り組みましたが、主力品の「カントリーマアム（大袋）」は価格改定を機に売場占有率が減少し、売上は厳しい状況となりました。一方、発売55周年を迎えた『ホームパイ』シリーズや「ペロペロチョコ」をはじめとするアンパンマンシリーズの堅調な販売もあり、売上は前年同期の実績を上回りました。

原材料やエネルギー価格の高騰への対策としては、3月に製品価格や内容量の見直しを行い、収益性の改善に取り組んでおります。

不二家（杭州）食品有限公司では、現地での新型コロナウイルス感染症からの経済の回復が目覚ましく、ポップキャンディをはじめとする製品販売の業績が急速に回復しており、売上は前年同期の実績を上回ることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は346億9百万円（対前年同期比106.1%）となりましたが、利益面では、製品価格の見直しによる販売数量減少により、減益となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は、16億17百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は305億95百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ65億3百万円減少いたしました。固定資産は475億40百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産の増により、前連結会計年度末に比べ9億27百万円の増加となりました。

この結果、総資産は781億36百万円で前連結会計年度末に比べ55億75百万円減少いたしました。

また、流動負債は155億1百万円で、主に支払手形及び買掛金やその他に含まれる設備支払手形の減により前連結会計年度末に比べ55億57百万円減少いたしました。固定負債は34億64百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。

この結果、負債は合計189億66百万円で、前連結会計年度末に比べ55億81百万円減少いたしました。

純資産は591億70百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。

次に、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、66億37百万円（前年同四半期は65億85百万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、50億62百万円（前年同四半期は22億78百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11億9百万円（前年同四半期は13億85百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、106億80百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年7月28日)公表の「2023年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,385	13,213
受取手形及び売掛金	15,827	9,799
商品及び製品	4,113	3,948
仕掛品	532	404
原材料及び貯蔵品	3,339	2,481
その他	1,106	939
貸倒引当金	△206	△190
流動資産合計	37,099	30,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,933	11,452
機械装置及び運搬具（純額）	13,974	13,712
土地	6,402	6,566
リース資産（純額）	611	559
その他（純額）	1,264	1,333
有形固定資産合計	33,187	33,625
無形固定資産		
その他	1,908	1,920
無形固定資産合計	1,908	1,920
投資その他の資産		
投資有価証券	6,086	6,437
繰延税金資産	1,318	1,583
敷金及び保証金	2,007	2,015
退職給付に係る資産	346	330
その他	1,884	1,752
貸倒引当金	△125	△123
投資その他の資産合計	11,517	11,995
固定資産合計	46,613	47,540
資産合計	83,712	78,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,437	6,265
短期借入金	960	960
リース債務	217	212
未払金	2,835	2,574
返金負債	2,060	1,646
未払法人税等	858	528
賞与引当金	432	481
その他	5,256	2,833
流動負債合計	21,059	15,501
固定負債		
リース債務	321	263
繰延税金負債	234	243
退職給付に係る負債	2,012	2,056
役員退職慰労引当金	62	64
その他	857	837
固定負債合計	3,488	3,464
負債合計	24,547	18,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,243	30,590
自己株式	△16	△16
株主資本合計	53,567	52,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	215
繰延ヘッジ損益	△26	1
為替換算調整勘定	1,040	1,384
退職給付に係る調整累計額	197	199
その他の包括利益累計額合計	1,350	1,801
非支配株主持分	4,247	4,454
純資産合計	59,165	59,170
負債純資産合計	83,712	78,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	48,599	51,010
売上原価	31,380	35,070
売上総利益	17,218	15,939
販売費及び一般管理費	15,057	15,734
営業利益	2,160	205
営業外収益		
受取利息	38	31
受取配当金	10	48
持分法による投資利益	320	240
保険解約返戻金	89	81
助成金収入	67	—
その他	122	48
営業外収益合計	648	450
営業外費用		
支払利息	4	3
その他	26	45
営業外費用合計	30	48
経常利益	2,779	606
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	0
関係会社株式売却益	—	76
特別利益合計	0	76
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	143	7
投資有価証券評価損	—	2
災害損失	3	—
段階取得に係る差損	36	—
支払補償費	—	69
特別損失合計	182	79
税金等調整前四半期純利益	2,596	603
法人税、住民税及び事業税	646	503
法人税等調整額	192	△299
法人税等合計	838	203
四半期純利益	1,757	399
非支配株主に帰属する四半期純利益	243	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,514	120

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,757	399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	103
為替換算調整勘定	1,063	445
退職給付に係る調整額	△28	1
持分法適用会社に対する持分相当額	1	53
その他の包括利益合計	1,004	603
四半期包括利益	2,761	1,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,225	571
非支配株主に係る四半期包括利益	535	432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,596	603
減価償却費	2,029	2,476
持分法による投資損益 (△は益)	△320	△240
助成金収入	△67	—
支払補償費	—	69
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△76
売上債権の増減額 (△は増加)	6,344	6,121
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△107	1,184
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,062	△2,215
未払金の増減額 (△は減少)	△3,632	△286
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△12	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	43
返金負債の増減額 (△は減少)	1,690	△413
その他	△328	78
小計	7,167	7,364
利息及び配当金の受取額	111	141
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△814	△795
その他	124	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,585	6,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	196	△206
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	448	—
投資有価証券の売却による収入	—	0
関係会社株式の売却による収入	—	109
固定資産の取得による支出	△2,838	△4,909
その他	△85	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,278	△5,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	—
長期借入金の返済による支出	△75	—
リース債務の返済による支出	△120	△115
配当金の支払額	△768	△769
非支配株主への配当金の支払額	△220	△224
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,385	△1,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	293	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,215	535
現金及び現金同等物の期首残高	14,364	10,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,580	10,680

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	12,233	—	12,233	—	12,233	—	12,233
レストラン	2,199	—	2,199	—	2,199	—	2,199
菓子	—	30,095	30,095	—	30,095	—	30,095
飲料	—	2,527	2,527	—	2,527	—	2,527
その他	—	—	—	1,452	1,452	—	1,452
顧客との契約から生じる収益	14,432	32,623	47,056	1,452	48,508	—	48,508
その他の収益	—	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	14,432	32,623	47,056	1,543	48,599	—	48,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	281	281	238	519	△519	—
計	14,432	32,905	47,337	1,781	49,119	△519	48,599
セグメント損益(△は損失)	△297	4,139	3,842	279	4,122	△1,961	2,160

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,961百万円には、その他の調整額4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,965百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	12,098	—	12,098	—	12,098	—	12,098
レストラン	2,685	—	2,685	—	2,685	—	2,685
菓子	—	32,362	32,362	—	32,362	—	32,362
飲料	—	2,246	2,246	—	2,246	—	2,246
その他	—	—	—	1,526	1,526	—	1,526
顧客との契約から生じる収益	14,783	34,609	49,392	1,526	50,919	—	50,919
その他の収益	—	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	14,783	34,609	49,392	1,617	51,010	—	51,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	228	228	239	468	△468	—
計	14,783	34,838	49,621	1,856	51,478	△468	51,010
セグメント損益(△は損失)	△1,466	3,501	2,034	297	2,332	△2,126	205

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,126百万円には、その他の調整額13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。